

FindITネットワークプローブのシステム設定

目的

Cisco FindIT Network Probeは、Webブラウザからシスコデバイスを安全に監視および管理するために不可欠なツールをネットワーク管理者に提供します。

[システム設定(System Configuration)]ページでは、ネットワーク内のすべてのデバイスに通常適用されるさまざまなシステムレベルパラメータを定義できます。これらのパラメータには、時刻設定、ドメインネームサービス、管理者認証などの設定が含まれます。これらのエリアごとに構成プロファイルを個別に作成することも、ウィザードを使用して単一のワークフローで各エリアのプロファイルを作成することもできます。次に、設定プロファイルが1つ以上のデバイスグループに適用され、デバイスにプッシュされます。

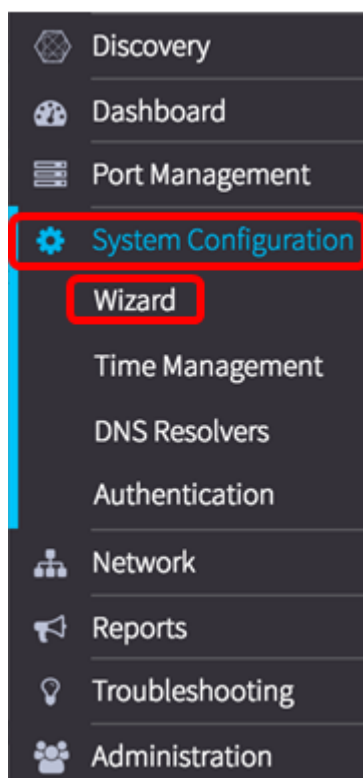
このドキュメントでは、すべてのデバイスで簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)が有効になっていることを前提としています。FindITネットワーク管理は、SNMPを使用してネットワーク上のノードまたはデバイスを監視および管理するWebベースのネットワークマネージャです。これらのノードまたはデバイスは、FindIT Network Managerと通信するためにSNMPが有効になっている必要があります。

このドキュメントでは、FindIT Network Probeのウィザードと手動設定を使用して、デバイスグループのシステム設定を構成する方法を説明します。

システム設定の構成

ウィザードの設定

ステップ1:FindITネットワークプローブにログインし、[System Configuration] > [Wizard]を選択します。



ステップ2:[Group Selection (グループ選択)]領域で、[Description (説明)]フィールドに構成プロファイルの説明を入力します。設定のこの部分は必須であり、スキップできません。
注：この例では、アクセスポイントを使用します。

Group Selection

Time Setting

DNS Resolver

Authentication

Finished

Description:
Access Points

Device Group:

Default

Wireless Devices

>

<

>>

<<

ステップ3:[Device Group]領域で、設定するデバイスグループを選択し、をクリックしてマップ >]します。新しいグループが設定されていない場合は、すべてのネットワークデバイスを含むデフォルトのデバイスグループが[デバイスグループ]領域に表示されます。新しいデバイスグループを作成する方法を知りたい場合は、[ここをクリック](#)してください。

注：この例では、[Wireless Devices]が選択されています。

Group Selection

Description:
Access Points

Device Group:

Default

Wireless Devices

>

<

>>

<<

Next

Cancel

ステップ4：[Next] をクリックします。

Group Selection

Description:

Access Points

Device Group:

Default	>	Wireless Devices
	<	
	>>	
	<<	

Next

Cancel

ステップ5:[Timezone]ドロップダウンメニューで、ネットワークがあるタイムゾーンを選択します。

注：この例では、アメリカ/ニューヨーク(GMT-4:00)が使用されています。

Group Selection Time Setting

Time Setting

DNS Resolver

Authentication

Finished

Timezone

America/New York(GMT-4:00) ✓
US/Alaska(GMT-8:00)
America/Juneau(GMT-8:00)
America/Nome(GMT-8:00)
America/Los Angeles(GMT-7:00)
US/Arizona(GMT-7:00)
America/Belize(GMT-6:00)
America/Costa Rica(GMT-6:00)
Brazil/Acre(GMT-5:00)
America/Cayman(GMT-5:00)
America/New York(GMT-4:00)
America/Aruba(GMT-4:00)
America/Barbados(GMT-4:00)
America/Martinique(GMT-4:00)
America/Argentina/Buenos Aires(GMT-3:00)
Brazil/East(GMT-3:00)
Brazil/DeNoronha(GMT-2:00)
South Georgia(GMT-2:00)
Atlantic/Cape Verde(GMT-1:00)
Africa/Bissau(GMT)
Iceland(GMT)

ステップ6: (オプション) 自分の国が夏時間(DST)を確認している場合は、[Enable Daylight Saving]チェックボックスをオンにします。

Time Setting

Timezone

America/New York(GMT-4:00) 

Daylight Saving:

Enable Daylight Saving :



Daylight Saving Mode

By Date Recurring

ステップ7：オプションボタンをクリックして、夏時間モードを選択します。

次のオプションがあります。

- [日付順(By Date)]：年の特定の日時に従ってDSTのパラメータを指定するには、このモードを選択します。
- [Recurring]：異なる月の2日間のためにDSTが発生するように設定するには、このモードを選択します。

注：この例では、[Recurring]が選択されています。時刻設定の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

Time Setting

Timezone

America/New York(GMT-4:00) 

Daylight Saving:

Enable Daylight Saving :



Daylight Saving Mode

By Date Recurring

ステップ8：ステップ7で[Recurring]を選択した場合は、[Month]フィールドに、DSTを開始する年の月に対応する数値を入力します。1～12の数字を使用します。

注：このフィールドに入力する数値は、[宛先]フィールドに入力する数値より大きくなければなりません。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ9:[Week]フィールドに、DSTを開始する月の週を入力します。

注：この例では、2を使用して月の2番目の週を表示します。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ10:[Day]ドロップダウンメニューから、DSTを開始する曜日をクリックします。

注：この例では、日曜日を使用します。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ11:[Time]ドロップダウンリストで、上向き矢印または下向き矢印を使用して、DSTを開始する時刻を選択します。

注：この例では、6:57AMが使用されています。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ12:[To]領域で、ステップ12からステップ15までのステップを繰り返し、DSTを終了させる月、週、日、および時間を指定します

注：この例では、DSTは11月1日の週の日曜日(06:59PM)に終了するように設定されていま

す。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ13:[Daylight Saving Offset]ドロップダウンリストから、DSTが現在の時間をオフセットする分数を選択します。オプションは+15、+30、+45、および+60です。

注：この例では、+45が使用されます。

Daylight Saving Offset: Minutes

NTP: _____

Use NTP

- +45
- +15
- +30
- +45
- +60

ステップ14:[NTPの使用(Use NTP)]チェックボックスをオンにして、Network Time Protocol(NTP)サーバからのリソース時間をシステムに設定します。

Use NTP

NTP Server1:

NTP Server2:

ステップ15:[NTP Server1]フィールドに、NTPサーバアドレスを入力します。ホスト名は1つ以上のラベルで構成できます。ラベルは最大63文字の英数字で構成されます。ホスト名に複数のラベルが含まれている場合、それぞれのラベルはピリオドで区切られます。入力したNTPサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、0.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

Use NTP



NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org ✓

NTP Server2:

0.0.0.0

Back

Next

Skip

Cancel

ステップ16: (オプション) [NTP Server2]フィールドに2番目のNTPサーバーアドレスを入力します。これは、NTP Server1がネットワークとの同期に失敗した場合のバックアップとして機能します。入力したNTPサーバアドレスが有効であれば、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、1.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

Use NTP



NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org ✓

NTP Server2:

1.ciscosb.pool.ntp.org ✓

Back

Next

Skip

Cancel

ステップ17：続行するには[次へ(Next)]を、設定のこの部分をスキップするには[スキップ(Skip)]をクリックします。

Use NTP



NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org ✓

NTP Server2:

1.ciscosb.pool.ntp.org ✓

Back

Next

Skip

Cancel

ステップ18: (オプション) [ドメイン名]フィールドに、ドメインネームシステム(DNS)名を入力します。入力したドメイン名が有効であれば、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、ドメイン名としてresolver1.opendns.comが使用されます。

Group Selection **DNS Resolver**

Time Setting

DNS Resolver

Authentication

Finished

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
0.0.0.0

DNS Server2:
0.0.0.0

Back Next Skip Cancel

ステップ19:[DNS Server1]フィールドに、DNSサーバアドレスを入力します。これは、インターネットプロトコルバージョン4(IPv4)アドレスです。入力したDNSサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。すでにインターネットサービスプロバイダー(ISP)からのDNSサーバアドレスがある場合は、ルータで見つかったアドレスを入力します。

注：この例では、208.67.222.222が使用されています。

DNS Resolver

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
208.67.222.222 ✓

DNS Server2:
0.0.0.0

Back Next Skip Cancel

ステップ20: (オプション) プライマリサーバに到達できない場合にフェールオーバーとして機能するバックアップDNSサーバアドレスを入力します。入力したDNSサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、208.67.220.220が使用されています。

DNS Resolver

Domain Name:

resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:

208.67.222.222 ✓

DNS Server2:

208.67.220.220 ✓

Back Next Skip Cancel

ステップ21：続行するには[Next]を、設定のこの部分をスキップするには[Skip]をクリックします。

DNS Resolver

Domain Name:

resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:

208.67.222.222 ✓

DNS Server2:

208.67.220.220 ✓

Back Next Skip Cancel



ステップ22:[ユーザ名(Username)]フィールドと[パスワード>Password)]フィールドにローカルのユーザ名とパスワードを作成します。これらは、ネットワークデバイスへの管理ユーザアクセスです。デバイスに既存のローカルユーザがある場合は、次のユーザ設定に置き換えられます。複数のユーザを作成するには、+(追加)アイコンをクリックします。

注：合計4つのローカルユーザクレデンシャルを作成できます。この例では、ローカルユーザが1人だけ作成されます。

Group Selection Authentication
 Time Setting Local User Authentication:
 DNS Resolver

Note: Existing local users on devices will be replaced by the users below

Local User: administrator [password] ✓ ⊕

Use complex passwords:  

Authentication

Finished


Back Next Skip Cancel

ステップ23: (オプション) [Use complex passwords]チェックボックスをオンにして、パスワードチェックを有効または無効にします。

Local User Authentication:

Note: Existing local users on devices will be replaced by the users below

Local User: administrator [password] ✓ ⊕

Use complex passwords: 

Back Next Skip Cancel

ステップ 24 : [Next] をクリックします。設定を適用する前に、設定を確認するページが表示されます。[Finish]をクリックして設定を保存します。前の設定ページに戻って変更する場合は、[戻る(Back)]をクリックします。

Group Selection Group Selection:
 Time Setting Description: Access Points
 DNS Resolver Device Group: Wireless Devices
 Authentication Time Setting:

Finished

Timezone: Asia/Shanghai(GMT+8:00)

Daylight Saving Mode: Recurring

From: Month:3 Week:1 Day Sun Time:06:57:00

To: Month:11 Week:1 Day Sun Time:18:59:00

Daylight Saving Offset: +45

NTP Server1: 0.ciscosb.poolntp.org

NTP Server2: 1.ciscosb.poolntp.org

DNS Resolver:

Domain Name: resolver1.opendns.com

DNS Server1: 208.67.222.222

DNS Server2: 208.67.220.220

Authentication:

Local User Name	Password
administrator	Cisco12345

Back Finish Cancel

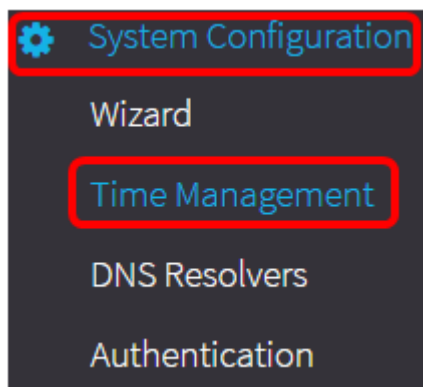
これで、ウィザードを使用して、デバイスグループの新しいシステム構成プロファイルを作

成または追加できました。

手動設定

時刻設定の設定

ステップ1：ナビゲーションペインで、[System Configuration] > [Time Management]を選択します。



ステップ2：新しいプロファイルを作成するには、[+] (追加) アイコンをクリックします。

注：既存のプロファイルを変更する場合は、変更するプロファイルのオプションボタンをクリックし、作業ペインの左上にある[Edit]アイコンをクリックします。



Description ⇅	Device Groups ^
Time Setting	
<input type="radio"/> Access Points	Wireless Devices
<input type="radio"/> Wireless Devices	

ステップ3:[Device Group Selection (デバイスグループの選択)]領域で、[Description (説明)]フィールドに構成の説明を入力します。

注：この例では、アクセスポイントを使用します。

Group Selection

Description:

Access Points

Device Group:

Default


Wireless Devices

>

<

>>

<<

ステップ4:[Device Group]領域で、設定するデバイスグループを選択し、をクリックしてマップ  します。複数のグループを選択できます。

注：この例では、ワイヤレスデバイスが使用されています。

Description:

Access Points

Device Groups:

Default

Wireless Devices

>

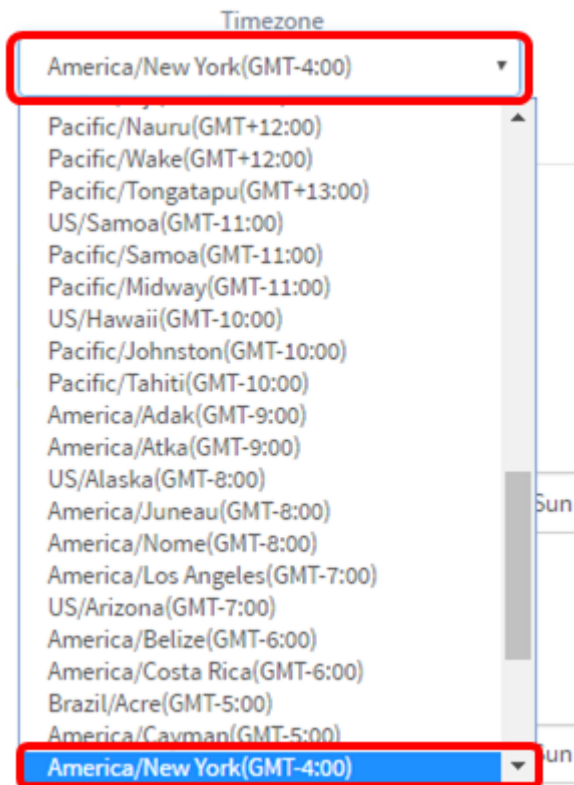
<

>>

<<

ステップ5:[Timezone]ドロップダウンメニューで、ネットワークがあるタイムゾーンを選択します。

注：この例では、アメリカ/ニューヨーク(GMT-4:00)が使用されています。



ステップ6：国が夏時間(DST)を確認している場合は、[Enable Daylight Saving]チェックボックスをオンにします。

注：すべてのタイムゾーンがDSTを使用するわけではありません。

Time Setting

Timezone

America/New York(GMT-4:00) ✓

Daylight Saving:

Enable Daylight Saving :

Daylight Saving Mode

By Date Recurring

ステップ7：オプションボタンをクリックして、夏時間モードを選択します。

次のオプションがあります。

- [日付順(By Date)]：このモードを選択して、年の特定の日時に従って夏時間(DST)のパラメータを指定します。これを選択した場合は、ステップ8に[進みます](#)。
- [Recurring]：異なる月の2日間のためにDSTが発生するように設定するには、このモードを選択します。これを選択した場合は、ステップ11に[進みます](#)。

Time Setting

Timezone

America/New York(GMT-4:00) ✓

Daylight Saving:

Enable Daylight Saving:




Daylight Saving Mode

By Date Recurring

ステップ8:[Step 7, in From]エリアで[By Date]を選択した場合は、カレンダーアイコンをクリックして、DSTを開始する日、月、および年を選択します。[Done] をクリックします。

注：この例では、2016/03/13が使用されています。

Daylight Saving Mode By Date Recurring

From: 2016/03/13 ✓  08 : 42

To:

	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8	28	29	01	02	03	04	05
9	06	07	08	09	10	11	12
10	13	14	15	16	17	18	19
11	20	21	22	23	24	25	26
12	27	28	29	30	31	01	02
13	03	04	05	06	07	08	09

Daylight Saving Offset:

Today Done

NTP:

ステップ9：カレンダーアイコンの後のフィールドで、上矢印または下矢印をクリックして、DSTを開始する時刻を選択します。

注：この例では、12:12 AMが使用されます。

Daylight Saving Mode

By Date Recurring

From : :

To : :

ステップ10:[To]領域で、ステップ8からステップ9までのステップを繰り返し、DSTを終了させる日、月、年、および時間を指定します。

注：この例では、DSTは2016年11月16日午前2:57に終了するように設定されています。

Daylight Saving Mode

By Date Recurring

From : :

To : :

ステップ11：ステップ7で[Recurring]を選択した場合は、[Month]フィールドに、DSTを開始する年の月に対応する数値を入力します。1～12の数字を使用します。

注：このフィールドに入力する数値は、[宛先]フィールドに入力する数値より大きくなければなりません。

From : :

To : :

ステップ12:[Week]フィールドに、DSTを開始する月の週を入力します。

注：この例では、2を使用して月の2番目の週を表示します。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ13:[Day]ドロップダウンメニューから、DSTを開始する曜日をクリックします。

注：この例では、日曜日を使用します。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ14:[Time]ドロップダウンリストで、上向きまたは下向き矢印を使用して、DSTを開始する時刻を選択します。

注：この例では、6:57 AMが使用されています。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ15:[To]領域で、ステップ11からステップ14までのステップを繰り返し、DSTを終了させる月、週、日、および時間を指定します。

注：この例では、DSTは11月1日の週の日曜日の午後06:59に終了するように設定されています。

From: Month Week Day Time : AM

To: Month Week Day Time : PM

ステップ16:[Daylight Saving Offset]ドロップダウンリストから、DSTが現在の時間をオフセットする分数を選択します。オプションは+15、+30、+45、および+60です。

注：この例では、+45がオフセットとして使用されます。

Daylight Saving Offset: Minutes

NTP:

Use NTP

- +45
- +15
- +30
- +45
- +60

ステップ17:[NTPの使用(Use NTP)]チェックボックスをオンにして、NTPサーバからのリソース時間をシステムに設定します。

Use NTP:

Use NTP



NTP Server1:

0.0.0.0

NTP Server2:

0.0.0.0

ステップ18:[NTP Server1]フィールドに、NTPサーバアドレスを入力します。ホスト名は1つ以上のラベルで構成できます。ラベルは最大63文字の英数字で構成されます。ホスト名に複数のラベルが含まれている場合、それぞれのラベルはピリオドで区切られます。入力したNTPサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、0.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

Use NTP:

Use NTP



NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org



NTP Server2:

0.0.0.0

ステップ19: (オプション) [NTP Server2]フィールドに2番目のNTPサーバアドレスを入力します。これは、NTP Server1がネットワークとの同期に失敗した場合のバックアップとして機能します。入力したNTPサーバアドレスが有効であれば、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、1.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

The screenshot shows the 'Use NTP' configuration window. At the top, the title 'Use NTP' is displayed. Below it, a checked checkbox indicates that NTP is enabled. The 'NTP Server1:' field contains the address '0.ciscosb.pool.ntp.org' and has a green checkmark to its right. The 'NTP Server2:' field contains the address '1.ciscosb.pool.ntp.org' and also has a green checkmark to its right. At the bottom of the window, there are two buttons: 'Save' (blue) and 'Cancel' (white).

ステップ20：これが新しい設定である場合は、[Save]をクリックします。

Use NTP

NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org ✓

NTP Server2:

1.ciscosb.pool.ntp.org ✓

Save Cancel

既存の構成を変更する場合は、[更新]をクリックします。

NTP Server1:

0.ciscosb.pool.ntp.org

NTP Server2:

1.ciscosb.pool.ntp.org

Update Cancel

これで、デバイスグループの時間設定が手動で正常に作成または変更されました。

設定 DNSリゾルバ

ステップ1：ナビゲーションペインで、[System Configuration] > [DNS Resolvers]を選択します。



ステップ2：新しいプロファイルを作成するには、[+ (追加)]アイコンをクリックします。既存のプロファイルを変更する場合は、変更するプロファイルのオプションボタンをクリックし、作業ペインの左上にある[Edit]アイコンをクリックします。



Description ⇅	Device Groups ⇅
<input type="radio"/> Access Points	Wireless Devices
<input type="radio"/> Wireless Devices	

ステップ3:[Device Group Selection (デバイスグループの選択)]領域で、[Description (説明)]フィールドに構成の説明を入力します。

注：この例では、アクセスポイントを使用します。

Group Selection

Description:

Access Points

Device Group:

Default

Wireless Devices

>

<

>>

<<

ステップ4:[Device Group]領域で、設定するデバイスグループを選択し、をクリックしてマップ >]します。複数のグループを選択できます。

注：この例では、ワイヤレスデバイスが使用されています。

Description:

Access Points

Device Groups:

Default

Wireless Devices

>

<

>>

<<

ステップ5:[ドメイン名]フィールドにDNS名を入力します。入力したドメイン名が有効であれば、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、resolver1.opendns.comが使用されます。

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
0.0.0.0

DNS Server2:
0.0.0.0

Save Cancel

ステップ6:[DNS Server1]フィールドに、DNSサーバアドレスを入力します。これは、インターネットプロトコルバージョン4(IPv4)アドレスです。入力したDNSサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。すでにインターネットサービスプロバイダー(ISP)からのDNSサーバアドレスがある場合は、ルータで見つかったアドレスを入力します。

注：この例では、208.67.222.222が使用されています。

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
208.67.222.222 ✓

DNS Server2:
0.0.0.0

Save Cancel

ステップ7:(オプション)プライマリサーバに到達できない場合にフェールオーバーとして機能するバックアップDNSサーバアドレスを入力します。入力したDNSサーバアドレスが有効な場合、フィールドに緑色のチェックマークが表示されます。

注：この例では、208.67.220.220が使用されています。

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
208.67.222.222 ✓

DNS Server2:
208.67.220.220 ✓

Save Cancel

ステップ8：新しい設定の場合は[Save]をクリックします。

Domain Name:
resolver1.opendns.com ✓

DNS Server1:
208.67.222.222 ✓

DNS Server2:
208.67.220.220 ✓

Save Cancel

既存の構成を変更する場合は、[更新]をクリックします。

Domain Name:
resolver1.opendns.com

DNS Server1:
208.67.222.222

DNS Server2:
208.67.220.220

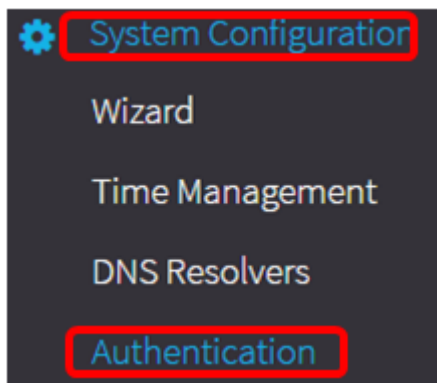
Update Cancel

これで、デバイスグループのDNS設定が手動で作成または変更されました。

設定 本物a飲み物

ステップ1：ナビゲーションペインで、[System Configuration] > [Authentication]を選択しま

す。



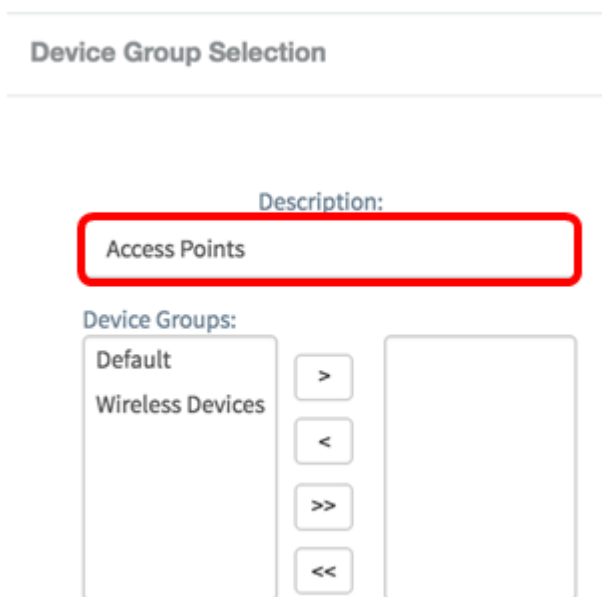
ステップ2: 新しいプロファイルを作成するには、[+ (追加)]アイコンをクリックします。既存のプロファイルを変更する場合は、変更するプロファイルのオプションボタンをクリックし、作業ペインの左上にある[Edit]アイコンをクリックします。



Description	Device Groups
Time Setting	
<input type="radio"/> Access Points	Wireless Devices
<input type="radio"/> Wireless Devices	

ステップ3:[Device Group Selection (デバイスグループの選択)]領域で、[Description (説明)]フィールドに構成の説明を入力します。

注: この例では、アクセスポイントを使用します。



ステップ4:[Device Group]領域で、設定するデバイスグループを選択し、をクリックしてマップ >]します。複数のグループを選択できます。

注: この例では、ワイヤレスデバイスが使用されています。

Device Group Selection

Description:

Access Points

Device Groups:

Default	>	Wireless Devices
	<	
	>>	
	<<	

ステップ5:[Username]フィールドと>Password]フィールドにローカルユーザ名とパスワードを作成します。デバイスに既存のローカルユーザがある場合は、次のユーザ設定に置き換えられます。これらは、ネットワークデバイスへの管理ユーザアクセスです。複数のユーザを作成するには、[+] (追加)アイコンをクリックします。

注：合計4つのローカルユーザクレデンシャルを作成できます。この例では、ローカルユーザが1人だけ作成されます。

Authentication

Local User Authentication:

Note: Existing local users on devices will be replaced by the users

Local User:

administrator	
*****	✓

Save Cancel

ステップ6：新しい設定の場合は[Save]をクリックします。

Authentication

Local User Authentication:

Note: Existing local users on devices will be replaced by the users

Local User:

administrator
***** ✓

+

Save Cancel

既存の構成を変更する場合は、[更新]をクリックします。

Authentication

Local User Authentication:

Note: Existing local users on devices will be replaced by

Local User:

administrator

Username

Password

+ 🗑️

Update Cancel

これで、デバイスグループ認証設定が手動で正常に設定または変更されたはずです。